



文部科学省
エントランス
企画展示

みんなで創る 地球環境ポスター展



総合地球環境学研究所（地球研）は、「地球環境問題の根源は、人間文化の問題にある」という認識のもと、世界各地をフィールドに異分野融合型の研究活動を通して、地球環境問題解決に向けた実践的な研究をおこなう国立の研究所です。

今回の展示では、地球研が所蔵する「国連子供環境ポスター原画コンテスト※」の作品を活用した教育ワークショップの成果をお披露目します。

ワークショップでは、草津市立渋川小学校（滋賀県）の六年生のみなさんが、たくさんのポスター原画から好きな作品を選んで、その解説文をグループで話し合いながら作りました。いわば学芸員になって、今回の展示「地球環境ポスター展」をみんなで創り上げたのです。また、会場には展示を見たみなさまからのメッセージを残していただけるスペースを用意しています。みなさまの参加で、この展覧会は完成します。

ただ受身で絵を鑑賞するのではなく、絵のメッセージを伝える立場になることで、絵との対話は格段に深まります。子どもたちが、自分たちは異なる文化・自然の中で育った世界中の子どもたちの絵と深く向き合い、みんなで話し合いながら創った展覧会に、是非ご参加ください。



展示期間 2019年 5月 20日（月）～6月 21日（金） 10:00～18:00

※土曜日、日曜日、祝日、休館

※国連子供環境ポスター 原画コンテスト

国連環境計画（UNEP）が主催する、世界の中学生以下の子どもを対象に行っている事業です。総合地球環境学研究所はこの事業の協力機関であり、コンテストの応募作はすべて総合地球環境学研究所に寄贈されています。

場所

文部科学省新庁舎
2階エントランス
(〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2)

入館無料



公開セミナー

イベント

環境教育 「RIHN」メソッド 課題解決から価値創造へ



講師

阿部 健一
地球研 コミュニケーション部門長・教授

日時 6月 24日（月） 13:30～15:30

場所 文部科学省情報ひろばラウンジ（1F）

後援・公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

地球環境問題について何を「教える」ことができるのか・・・。

地球環境問題が明示するのは、今の社会とそれを支える価値観を変えなければならないということ。たとえば国際的環境教育プログラム KLaSiCa では、知識・情報を伝えるだけでなく、社会を変える具体的な行動を起こすための「学習」が必要と考えています。また解決のために一つの正解があるわけではありません。いくつかの選択肢の中から、選択する「教養」が求められています。事実命題ではなく、価値問題を問う設計科学的な思考が必要です。

環境問題の解決とは、まず、豊かさとは何かを考え、そのための目標を立てることです。SDGsもその延長線上に掲げられました。環境問題の根底に文化と価値の問題があると考える総合地球環境学研究所（RIHN）でも、「環境教育」のありかたを考えることは大きな課題の一つです。われわれの考えと試みを紹介したうえで、環境教育に関して意見交換ができればと思っています。

お問い合わせ先



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所
Research Institute for Humanity and Nature

広報室

TEL: 075-707-2401
E-mail: kikaku@chikyu.ac.jp